

研究課題名	食道癌・頭頸部癌・血液癌・心臓血管疾患・肺癌・乳癌および様々な感染症における口腔内細菌叢・サイトカインをバイオマーカーとした疾患
研究期間	実施許可日～2030年3月31日
研究の対象	広島大学病院消化器外科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、救命救急科を受診した20歳以上の患者さんのうち、お口の細菌が病気や治療中合併症に関係しやすい治療を行う患者さんで、2021年4月までに、研究に参加することを同意した対象者の方。
研究の目的・方法	<p>研究目的：お体の細菌、特にお口の細菌は、疾患治療中におこる合併症や、様々な病気の素因となることが報告されています。そこで、皆様の治療と平行して、お口も治療をしながら合併症などを予防しやすくします。また、どのような細菌が皆様の病気や合併症に関わっているのかを調べるために、血液や唾液、便などを調べて、細菌と疾患との関係を調査し、疾患の病態、合併症および治療効果の評価を行います。試料の微生物叢情報は、国内外の研究者間で共有し、今後の治療へ反映させていくことを目的としています。</p> <p>研究の方法：疾患の治療を開始する前にお口の状態を確認し、皆様の希望を聞きながら、必要な歯科治療や口腔ケアを開始します。初診時、疾患の治療を開始してから2回、計3回、唾液や歯垢、舌苔、喀痰、便などを採取します。また、通常の検査で採取され余った血液を保存します。さらにカルテ情報を転記します。後ほど、採取した試料からどのような細菌を持っているか等を調べます。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：カルテ情報（性別、生年月、問診内容、使用薬剤、検査結果等） 試料：血液、唾液、歯垢、舌苔等
外部への試料・情報の提供	試料の微生物叢情報は、日本DNAデータバンクに提供し、国内外の研究者間で共有しますが、あなたの個人情報は全て削除されており外部に公表されることはありません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2020年1月10日）以降
個人情報の保護	試料・情報を提供する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からぬよう加工した上で提供します。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者が保管・管理し、外部へ提供することはありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院口腔総合診療科 教授 河口 浩之 研究機関の長 広島大学理事 田中純子

その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはございませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、既に公表された結果については、個人が特定できないように個人情報を加工するため、途中からあなたの情報だけを削除することが困難となります。そのため、同意撤回までに公表された研究結果については、そのまま利用させていただくことをご了承ください。また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5744 広島大学病院口腔総合診療科 西 裕美</p>